2027年3月期 上期(FY2026 1H)
経営現況報告

2026年11月４日

千代田化工建設株式会社

（証券コード：6366）

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

AGENDA：

1. 中東情勢の当社事業への影響と対応状況
2. 「経営計画2025」の進捗状況
3. 遂行中案件の状況
4. 受注の状況
5. A種優先株式の償還状況



1.中東情勢の当社事業への影響と対応状況

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

中東情勢の当社事業への影響と対応状況

現在中東地域で遂行中の主要EPC案件は2件
いずれも地政学リスクの影響を最小限に抑えながら建設工事を遂行中

NFE



3Dモデル完成予想図、Courtesy of QatarEnergy LNG

現在の状況	・設計・調達は終盤 ・第1系列の引き渡しに向けて取り組み中
影響	・所員の一部退避（3月）による一時的な制約 ・建設工事が順調に進捗
主な対応策	・現地情勢の継続的なモニタリングと緊急時の危機管理体制を整備
今後の見通し	・スケジュールへの影響を精査中 ・情勢を注視しつつ、完工を目指す

石油・石化案件（詳細非開示）



現在の状況	・輸送への影響があるものの、全体では計画を上回る進捗で遂行中
影響	・海上輸送への制約等により一部工程の見直しを実施
主な対応策	・海上輸送状況を踏まえた物流対応の実施 ・工程・輸送影響の継続的な把握
今後の見通し	・物流・海上輸送への影響を継続的にモニタリングし、工程への影響を抑えながら遂行



現時点で当期業績への影響は限定的
引き続き安全を最優先にプロジェクトを遂行

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

2.「経営計画2025」の進捗状況

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

中期経営計画 「経営計画2025」 2026年度上期までの進捗

中計目標の達成に向け、変革を着実に推進

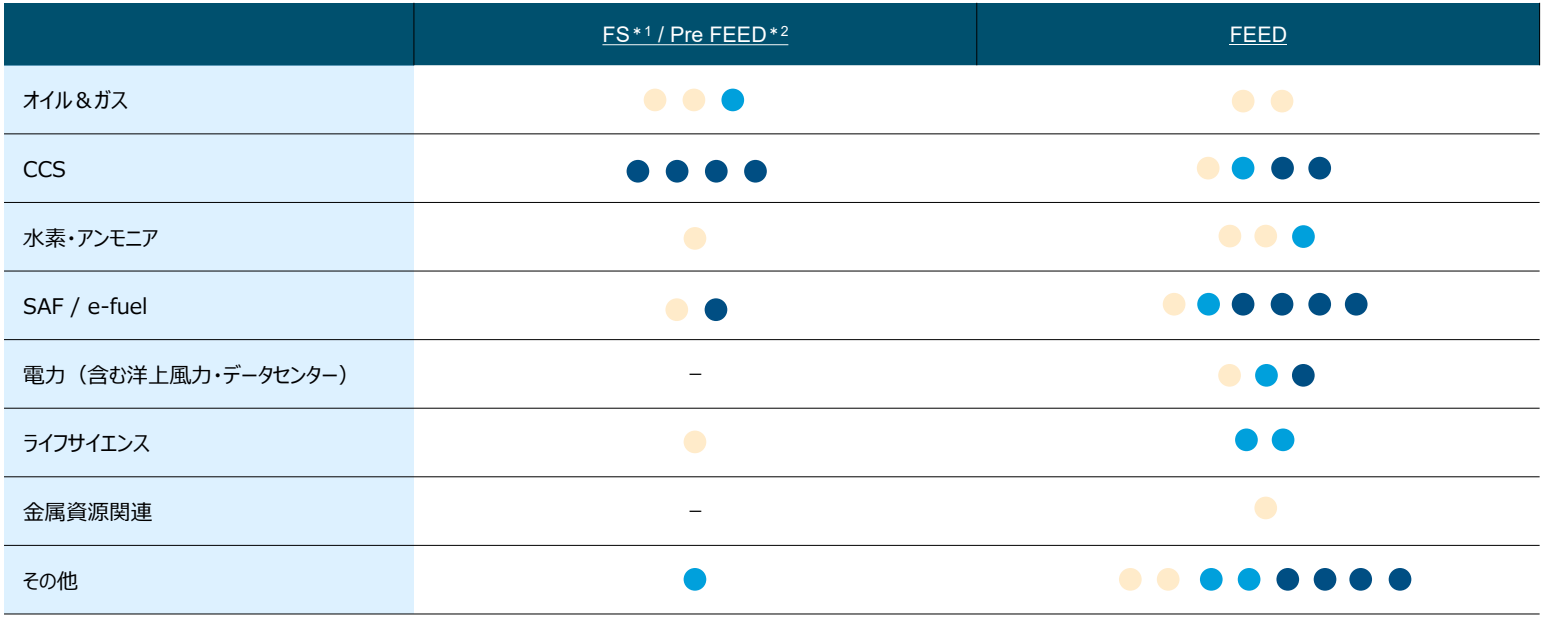
重点取組	海外既存大型プロジェクトの着実な遂行	• 米国ゴールデンパスLNG　第1系列の建設・試運転完了。1st LNGの生産達成 • カタール NFE　設計・調達は終盤に入り、建設工事が進行中 中東情勢影響により一時的に工事を停止するなどの影響が生じたものの、その後沈静化により、工事を順次再開
	海外プロジェクト取り組み改革(受注方針)	• 成長推進本部を設置し「全社営業」を推進する体制を整備 • 国内案件を中心に将来のEPC獲得に向けた案件形成が進展 • 国内エンジ事業を担う千代田エクスワンエンジニアリング（CXO）が着実に事業を拡大
	国内プロジェクトの収益拡大	
	事業共創の拡充	• ＜細胞医療＞東京応化工業との生体模倣システム（MPS）の社会実装に向けた基本合意書締結
	分厚い中核人財層の形成	• 中核人財の人財像と育成方針を再整備し、経験付与を軸とした育成運用を開始

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

EPC受注パイプラインの形成状況

国内案件を中心に案件組成が進展し、将来のEPC受注に向けたパイプラインを着実に形成

（件数）



千代田グループにおけるEPC受注候補案件（FS・FEEDの検討中・実施中・実施済みの案件。EPC化時の想定案件規模50億円以上）

*1 FS：Feasibility Study（事業可能性検討）
*2 FEED：Front End Engineering Design（基本設計）

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

千代田エクスワンエンジニアリングの成長戦略

国内事業の安定収益基盤を強化・拡大すると共に、新たな成長領域に挑戦

成長領域の拡大

社会課題を成長機会と捉え、
新たな分野での事業創出により、
さらなる成長を目指す

＋

安定的な事業基盤の強化・拡大

既存顧客基盤と培ってきた
エンジニアリング力を生かし、
安定的な受注・収益を確保

先端素材・ファインケミカル
・半導体材料
・機能性材料など

GX・脱炭素関連
・オイル＆ガスプラントの定期修繕
・既存顧客基盤をベースとした安定的な収益

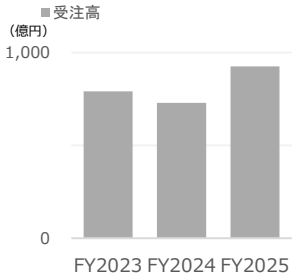
新たなO&M領域
・DXを活用した省人化提案
・オイル＆ガス以外の産業分野への展開

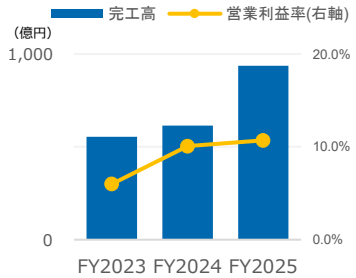
国内事業の持続的な成長

定期修繕・日常保全
・オイル＆ガスプラントの定期修繕
・これまでの顧客基盤をベースとした安定的な収益

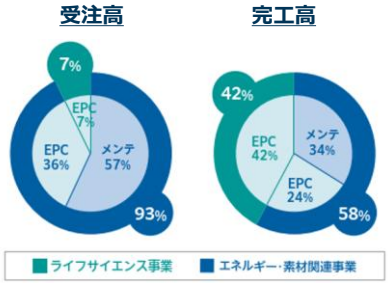
ライフサイエンス
・医薬品や医療機器の製造設備
・これまでの顧客基盤をベースとした安定的な収益

受注高・完工高の推移





受注高・完工高の構成（25年度）



直近の主な案件

医薬品生産プラント



扶桑薬品工業(株)岡山第二工場

チタン精製プラント



東邦チタニウム(株)若松工場

CHIYODA CORPORATION

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

ライフサイエンス事業の提供価値拡大に向け、MPS*1領域へ参入

東京応化工業のMPSデバイス技術と、当社の細胞培養・開発支援機能を融合し、ライフサイエンス領域での新たな成長機会を創出

世界的に高まるMPSへの期待

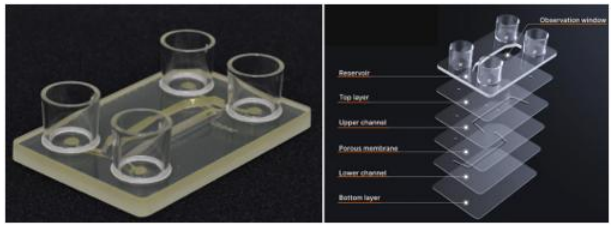
- 動物実験代替技術（NAMs*2）への関心拡大
- 新モダリティ普及で新たな評価手法が必要
- MPSは次世代創薬を支える有望技術

tok 微細加工技術 MPSデバイス開発 × CHIYODA CORPORATION CRDO事業 細胞培養の知見 エンジニアリング力

研究開発から社会実装まで一貫支援

- CRDO*3事業とのシナジー創出
- 研究開発支援から実装までの一貫支援体制を強化
- MPS関連市場への参入
- ライフサイエンス事業成長の基盤形成

両社の強みを組み合わせ、MPSの社会実装を推進



東京応化工業の製造する MPSデバイス「Fluid3D-X®」



千代田化工建設グループが筑波大学内に設置した細胞培養加工施設「TACT」

*1 MPS：Microphysiological System(生体模倣システム)の略。ヒト由来細胞とマイクロ流体技術を組み合わせ、生体内環境を再現する評価プラットフォーム
*2 NAMs：New Approach Methodologies（新しいアプローチ方法論）
*3 CRDO：Contract Research & Development Organization（医薬品研究開発受託機関）

CHIYODA CORPORATION

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

3. 遂行中案件の状況

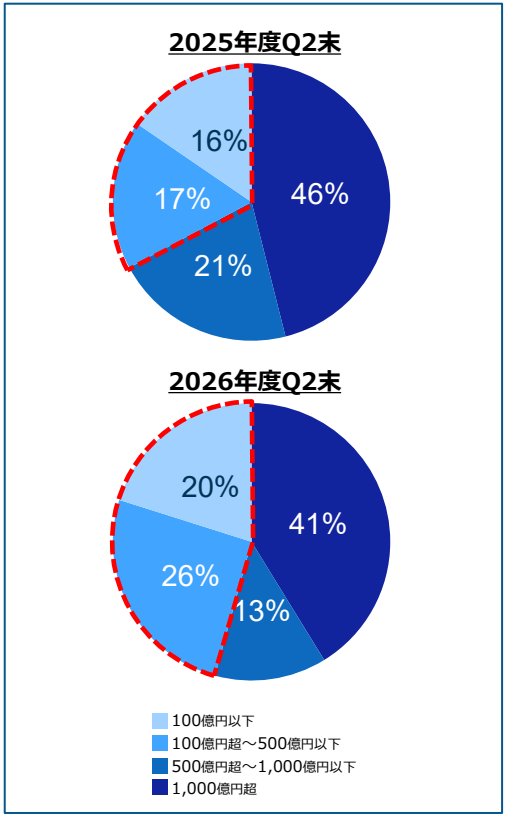
© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

主要遂行中案件の状況

◆主要遂行中案件一覧 *1

案件	国・地域	受注時期	プロジェクトの概要	受注残高
NFE LNG	カタール	FY2020/Q4	• 単一系列として世界最大規模となる年産800万トンのLNGプラントを4系列建設中 • 中東情勢のリスクを踏まえた対応を講じつつ、現地での作業遂行中	1,000億円以上
石油・石油化学関係	中東	FY2025/Q1	• 石油・石油化学関係プラントのEPC業務 • 中東情勢のリスクを踏まえた対応を講じつつ、EPC遂行中	500億円以上～1,000億円未満
ゴールデンパスLNG	米国	FY2018/Q4	• カタールエナジー、エクソンモービルが出資する北米における重要なLNG開発案件の一つ • JVパートナーの米国McDermott社と共に、3系列のLNGプラント建設に関するEPC業務を遂行中 • 第１系列は、2026年3月に建設および試運転を完了し、1st LNGの生産を達成	100億円以上～500億円未満
LNG受入設備	日本	FY2024/Q4	• LNG受入基地の能力増強に係るプラント設備のEPC業務 • 2029年度上期完工に向け計画どおり遂行中	
医薬品製造工場	日本	FY2026/Q2	• 製造ライン新設及び生産機能集約に係るEPC業務 • 2028年3月完工に向け遂行中(グループ会社千代田エクスワンエンジニアリングにて受注・遂行)	
固体電解質大型パイロット装置	日本	FY2025/Q3	• 全固体電池の材料となる固体電解質の製造をおこなうプロジェクト • 硫化リチウムの大型製造装置もEPC遂行中	–
LNG/ガス関連案件	中近東	FY2026/Q1	• 中近東地域における既存設備に関する業務を遂行中	–

◆受注残高別構成の変化



*1 表中に記載の見通しおよびスケジュールは計画に基づく予測であり、様々な不確定要因により変動する可能性があります

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

4. 受注の状況

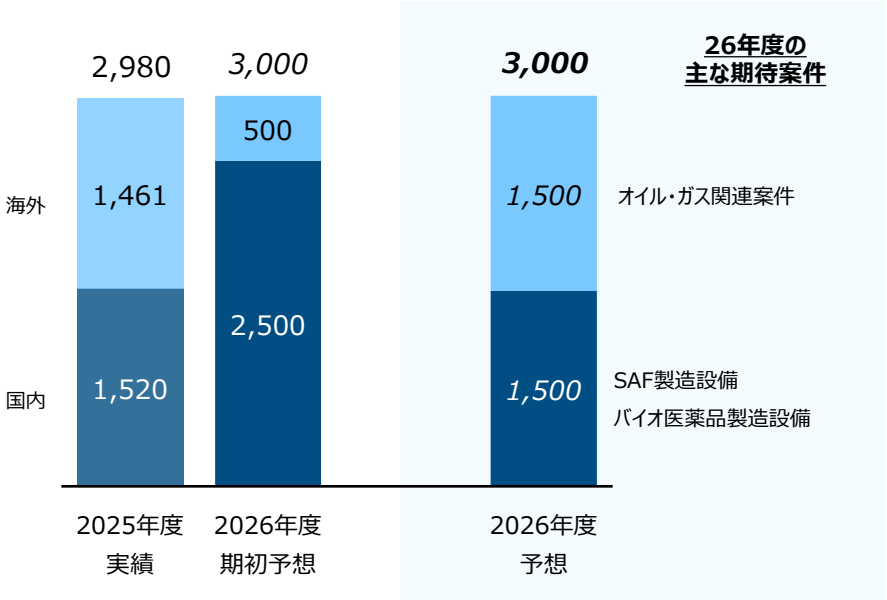
© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

受注/受注残高の状況

単位：億円

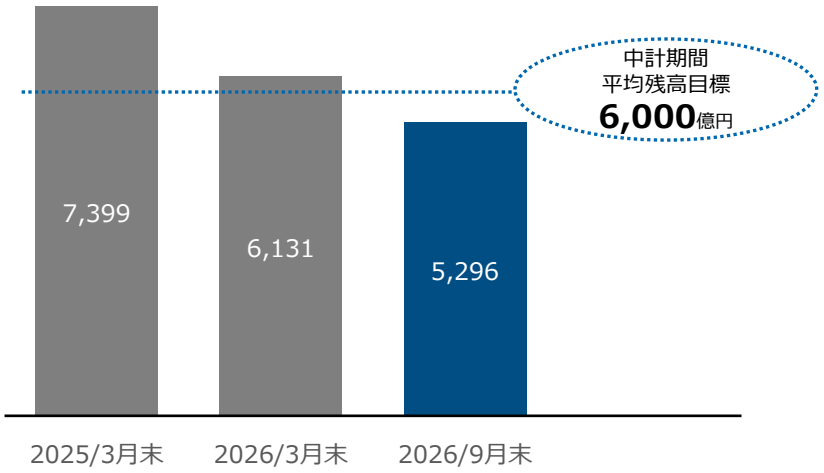
受注高

- 2026年度受注目標**3,000**億円は変更なし
- 案件形成状況を踏まえ、国内・海外の受注見通しを更新



受注残高

- 2026/9月末の受注残高は**5,296**億円
- 主要案件の着実な遂行に伴い受注残高は減少するも、将来の受注に向けた案件形成は着実に進展

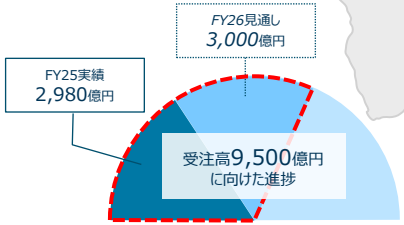


© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

主な受注ターゲット

「経営計画2025」の累計受注計画 9,500億円達成に向けた主なターゲット

日本	4,000～4,500億円	・SAF製造設備 ・CCS（二酸化炭素回収・貯留） ・水素製造プラント・水電解装置 ・蓄電設備 ・先端素材製造設備 ・バイオ医薬品製造設備　など
中東	1,500 ～ 2,000億円	・石油・石油化学プラント増設 ・LNGプラント増設 ・復旧需要　など
米州	200～300億円	・石油/ガス関連設備　（含む増設,改造） ・金属資源関連　など
アジア・豪州	200～300億円	・石油/ガス関連設備（含む増設,改造） ・金属資源関連　など



※2026年度、2027年度の受注獲得に向け千代田化工建設グループで取り組んでいる主な案件

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

5. A種優先株式の償還状況

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

A種優先株の償還状況および復配に向けた考え方

26年6月にA種優先株式の63.1%を551億円で取得し、即時消却を実施
27/3期、28/3期決算にて残りの36.9%を取得・消却する方針



取得価額　　:1株につき499.2円
取得総額　　:55,111,680,000円
取得・消却日 :2026年6月30日

2027年3月期、2028年3月期決算時点の分配可能額すべてを残りの償還に充て、全株償還・消却を目指す

復配に向けた考え方（変更無し）

A種優先株式の取得・消却の完了を優先し、その後復配およびプライム上場を目指す

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】
千代田化工建設株式会社
財務企画室　IRグループ
E-Mail：ir@chiyodacorp.com

CHIYODA CORPORATION

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

CHIYODA GROUP